

価値デザイン経営セミナー開催概要（令和6年度）

1. 講演概要

セミナー・ワークショップ概要

第1回／講義

1. 事業環境の急激な変化に耐え抜く経営とは
2. 経営デザインシートと価値デザイン社会
3. KDSの活用事例
4. KDSの作成ワークショップ
「自社のKDSを書いてみる」
※第2回までの課題あり（自社の未来のありたい姿を描く）

第2回／ワークショップ

1. 自社のKDS発表と対話
2. 自社のKDSの見直し
3. 自社のKDSとセミナーでの
気づきの発表



2. 開催日程

13:10～16:30



地域		日程	会場
支援機関向 (郡山市)	第1回	7月 4日 (木)	郡山商工会議所 5F 会議室
中通り地区 (郡山市)	第1回	8月 19日 (月)	郡山商工会議所 5F 会議室
	第2回	9月 9日 (月)	
浜通り地区 (いわき市)	第1回	10月 7日 (月)	いわき産業創造館 会議室 1
	第2回	11月 11日 (月)	

3. 講師紹介



近藤 泰祐 氏

日本知財学会 経営デザイン分科会代表幹事

内閣府と連携しながら日本知財学会経営デザイン分科会代表幹事として経営デザインシートの普及活動に取り組み、公的機関の中小企業支援（主に新価値創造の領域）に携わる。2020年より、価値デザイン経営ワーキンググループ（日知的財産戦略本部構想委員会）の委員を務める。



五島 宏明 氏

ヒロパートナーズオフィス 代表（中小企業診断士）

子供服屋の三代目社長として、小売業からSPA（製造小売業）へ業態転換しオリジナルブランドFiveKids（商標取得）を生み出したが、少子化やSC間競争に巻き込まれ会社は倒産。その後、自らの失敗を教訓に、事業再生士&ビジネスデザイナーとして経営デザインシートを活用したビジネスモデルの変革を主軸に経営相談やセミナー及び講演を開催している。
著書／「三代目が会社をつぶす!」（同友館）

フォローアップ支援

2024 年度セミナー参加企業からのエントリーにより、講師2名による個別支援を4社実施しました。

①中通り地区：10月 8日に2社実施。

②浜通り地区：11月12日に2社実施。

経営デザインシート(KDS)に描いたありたい姿を達成していくために、提供価値の精査、移行計画の検討など、企業ごとにヒアリングとアドバイスを行い、セミナーで得た知識を、更に深く理解することにつながりました。また、KDS を社内に浸透させることの重要性を伝えることができました。

事務局より

価値デザイン経営の考え方、ツールとしての経営デザインシート（KDS）の活用が、県内企業及び支援機関の支援活動として根付いてゆくことを目指し、今後も普及活動を続けて参ります。

令和7年3月 福島県 商工労働部 産業振興課 ☎024-521-7283
一般社団法人福島県発明協会 ☎024-959-3351

価値デザイン経営とは

●ひとことでいうと・・・

企業や組織が「ありたい姿」を描き、そこへの到達に必要な製品やサービスによる「提供価値」を具体化し、現状の課題から「ありたい姿」への移行戦略を考える経営手法です。
そして、自社の未来像を可視化するツールが「経営デザインシート（KDS）」です。

※中小企業自らが自社の存在意義を意識し、企業価値を向上させるために将来に渡って持続的に成長する企業に変革することが求められており、内閣府知的財産戦略本部が推進している。

●社会環境は・・・

世界的には、ICT（AI・IoT、DX）やカーボンニュートラル、SDGsに加え、原材料高騰、物価上昇、円安、金利上昇等があります。

国内でも、人口減少・少子高齢化や地方創生への対応が急務で企業を取り巻く環境は、大きく変化しています。

●事業成長は・・・

ダーウィンの進化論的に考えるなら、生き残る企業は、変化に対応できる企業であり、この経済社会の変化に対応しながら、経営者が本当にやりたいことを探求し、夢の実現に向け、いきいきと邁進することで未来が拓けます。

参加者の変化 & 導入事例

INPUT

- 新しい経営手法、奥深い構造で考えが整理できる ★★★★★
- 目指す姿を描き、可視化して伝達する ★★
- ワクワク感を持つことが印象に残る ★★
- 参加者の意見や考え方が参考になる ★★
- 講師・事務局に感謝 ★

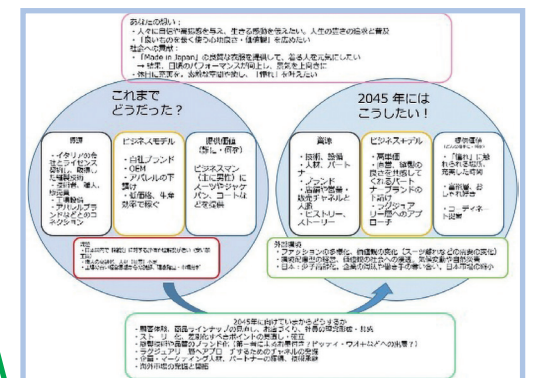
CHANGE

- 新固定観念に縛られず創造する、ビジョンが形になる ★★★★★
- 伝え方、視点を変える、俯瞰して見る、社内へ発信する ★★
- ワクワクする会社をつくる、継続的に取り組む ★★

ACTION

- 具体的行動に移行、新商品・新規事業の創出や既存事業の改革 ★★★★★
- 地道に徹底的に日々取組、社員全員で取組む、具体的アクションへ ★★★★★
- ワクワクする以上のワクワクする会社、全てのステークホルダーの共感を得る ★★
- 経営のブラッシュアップ、商品開発、長期雇用 ★★

導入事例



ありたい姿は・・・

自社商品を、憧れの高級ブランドに！
高級ブランドはどのように造られているか
ベンチマーク！

自社に足りないものを洗い出し！

提供する価値は・・・
社内で更にブラッシュアップ！

ありたい姿を目指し、
プロジェクトとして
取組中です！

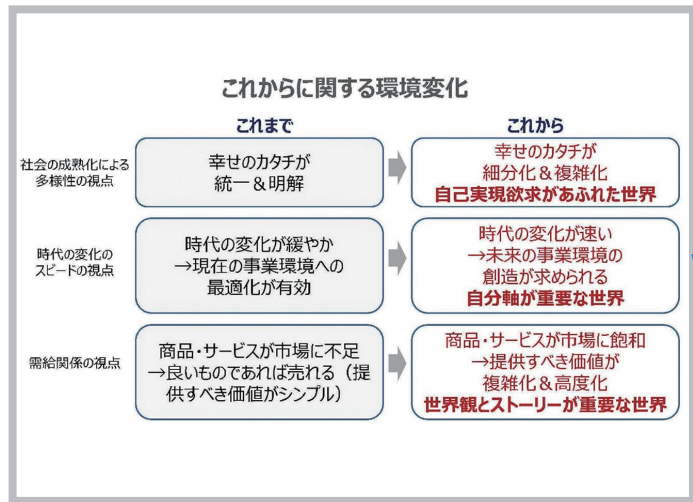
本宮で奮闘している
企業です

👉 アンケート結果より、★の数は人数

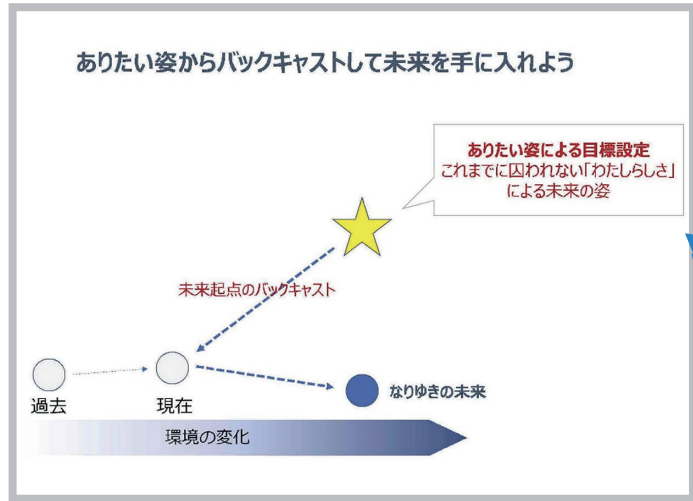
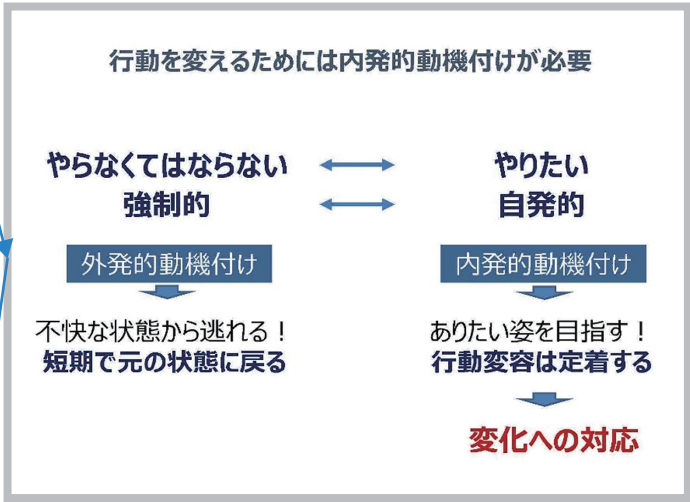
「ありたい姿」を強く想い、輝ける自社の未来を引き寄せる

その「ありたい姿」を手に入れるためには、現状維持バイアスから脱却し、自らの想いを常に意識し、自らのありたい姿を思い描くとともに、それを周囲と共有し、世界にあふれる情報から未来につながる情報を拾い出し（意識しないと見えない）、バックキャストによる計画を実行し、輝ける自社の未来を引き寄せる。

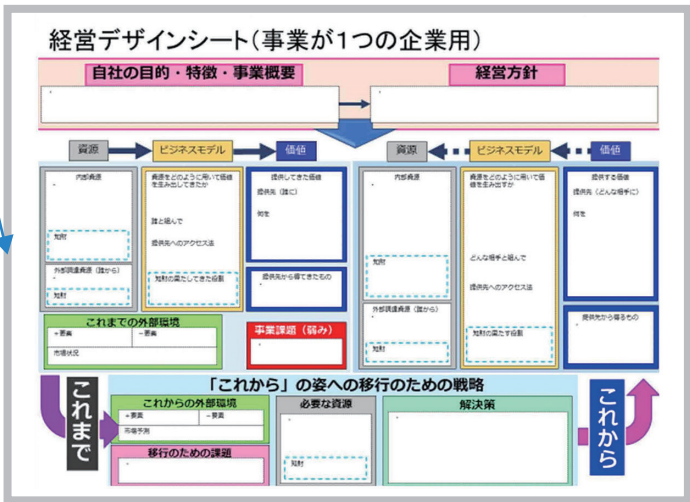
※以下セミナーのダイジェスト版



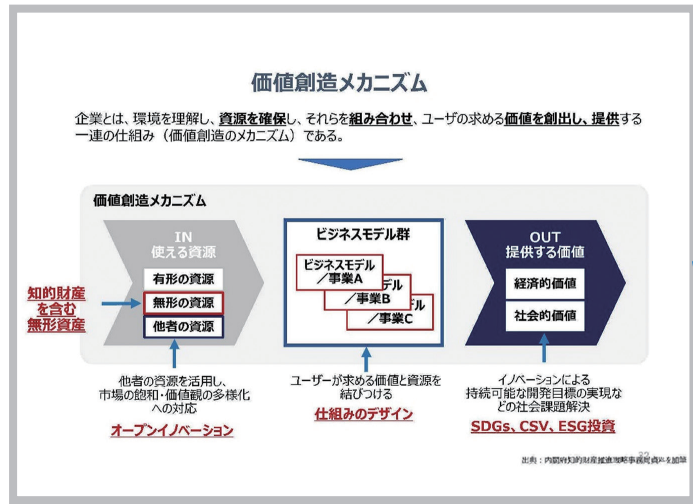
これからは、自己実現欲求、自分軸、世界観が重要視される社会。
商品やサービスが溢れており、求めるものが細分化され、変化も速い。



現時点から将来目標を設定すると、環境変化に追いつかず現状維持以下に留まる。
将来のありたい姿から、バックキャストで手段を策定する。

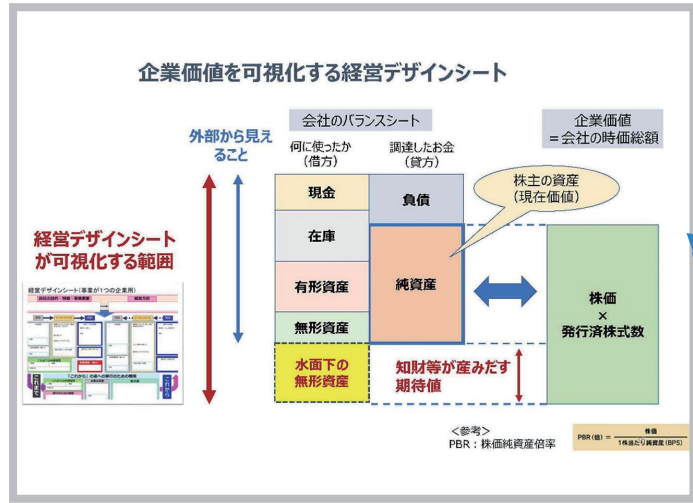


経営デザインシート (KDS) のフォーマット。
記載方法は次頁で紹介。



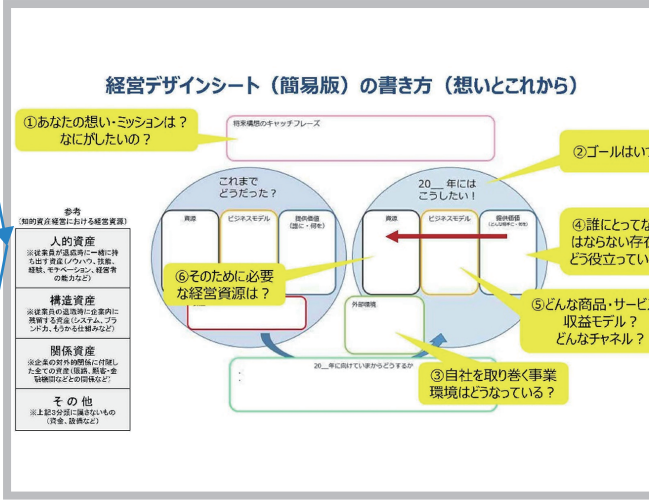
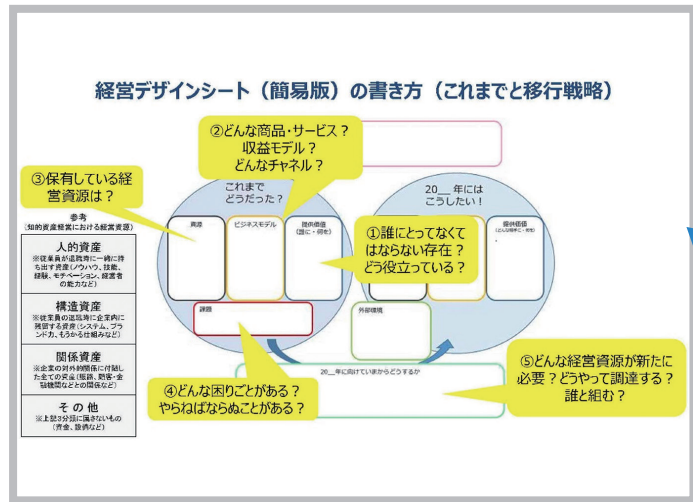
自社の商品やサービスは顧客に対して、どのような「価値」を提供するのか、しているのかを追求することが重要。

- ①ありたい姿を描く。
- ②提供する価値を導き出す。
- ③現状を把握する。
- ④価値を実現する手段を策定する。



バランスシート上で可視化されない、技術・ノウハウ・顧客・ネットワークなどの「水面下の無形資産」を含めて、KDSでは可視化することができる。

先に上段のありたい姿ややりたいことを設定し、右の欄の記載から、左の欄を記載し、最後に移行手段を策定する。
※左の欄を先に書かない。



<KDSのメリット>

- ・1枚で全体を俯瞰できる。
- ・時間軸を意識できる (これまでとこれから)。
- ・想いを記載できる。
- ・欄が限られ、大切なことしか書けない。
- ・社内や顧客等との対話に活用できる。